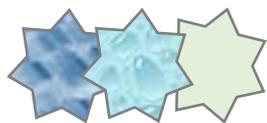
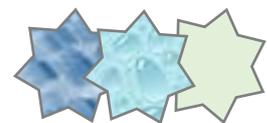


## コミュニティ・スクールだより



## こんな活動しました

～小学校編～



小学校3～6年生の授業には『総合的な学習の時間』があります。学習の目標は、地域の人、もの、ことに関わる工夫や努力、願いを知り自分たちの生活との関わりを理解し探究活動を行う過程で、課題を見だし、調べ、考えたことをまとめ、発表する力を育てることです。

奈井江小学校では、《福祉・健康》に関する学習を『総合的な学習の時間』のテーマの一つに設定し学年間で系統的に学習し、6年生のゴールの姿へつなげています。さまざまな不自由さをもつ方々を理解し、自分にできることに気づき考える力を育てることをねらいとしています。このテーマの学習について、秋以降の様子をまとめてご紹介します。（\*5年生は5月の看護体験で終了。）

## 【福祉・健康】3年生はじめての手話体験 11月21日・12月17日

1回目の11月21日は、北海道拓明興社施設長から施設や利用者の方々の生活について教えていただいたあと、職員の方と手話サークルの方から、手話のあいさつや自己紹介のしかた、五十音の指文字を教えてくださいました。子どもたちは手のひらの向きや手首の動かし方を確認しながら、自分の名前を熱心に練習していました。

2回目の12月17日には、練習した手話をみていただきました。「こんにちは。私の名前は〇〇です。」「私の好きな〇〇は〇〇です。」などの発表に一人一人アドバイスをいただきました。

最後は、全員で「アンパンマン」の歌を手話で発表しました。



## 【福祉・健康】3年生 盲導犬体験 11月25日

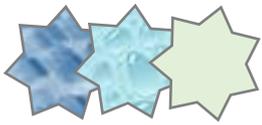
北海道盲導犬協会から盲導犬歩行指導員の方とラブラドルレトリバーのオブリ号が来校しました。授業の前半では、視野を狭めた特殊な眼鏡を使って本を読んだり折り紙をしたりする体験と視界全体がかすむ眼鏡をかけて白杖をつけて歩行する体験を通して、ロービジョンの方のさまざまな見え方を学びました。後半は、盲導犬の一生について学び、代表数名がオブリ号との歩行を体験しました。この

授業を通して、視覚障がいをもつ人の生活や手助けの仕方などについて考えを深めました。



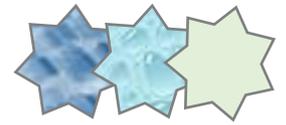
## 『授業後の感想から』

- 目の見えにくい人の気持ちがわかりました。
- もうどう犬がかしこくてびっくりしました。
- もうどう犬は、目が見えない人が生活しやすくサポートしてくれることがわかりました。



# こんな活動しました

～小学校編～



## 【福祉・健康】4年生

## 車いす体験11月6日

昨年度に引き続き、砂川市立病院作業療法士の方を講師にお迎えし、足の不自由な人のくらしについて学びました。まず、講師のなげかけで、「自分や家族が車いすを使って生活することになったら困ることは何か」、「車いすを使った暮らしで不便さをできるだけなくすための工夫にはどんなものがあるか」を考えました。後半は、車いすの操作を学んだ後、コーンやマットで曲がった道や段差を模擬体験したり、車いす用に工夫された場所とそうでない場所を比較体験したりしました。

子どもたちは操作の難しさを実感すると同時に、相手の気持ちになって介助する大切さを学びました。



### 『授業後の感想から』

- ちょっとしただんさでもかいごする人がいないとのぼれないことがわかりました。
- 学校の水飲み場やトイレも工夫してることがわかりました。
- 車いすをおしてもらったときだん差で「ドンツ」となってびっくりしました。
- これから車いすの人を見たら、助けてあげたいと思いました。

## 【福祉・健康】6年生

## 支援施設との交流会9月11日、11月6日

6年生は、ないえ福祉会のご協力で、5月のいも植え、7月のラベルづくりに続いて、9月はいもの収穫を行いました。7月に施設を訪問したとき真っ白い花が満開に咲いているのを見学しましたが、今回掘ってみると鈴なりのじゃがいもが顔を出しました。3度目の訪問となる6年生は、利用者の皆さんとも顔なじみになり、一緒にいもを選別してかごに入れたり運んだりし、袋いっぱいいただいて帰りました。後日一緒に制作したラベルが貼られたじゃがいもが、道の駅で販売されました。

11月に予定されていた最後の交流は、6年生が利用者の皆さんを学校に招いて交流会を行う予定でしたが、今年はインフルエンザの流行により実施ができませんでした。利用者の皆さんに楽しんでいただけるレクなどを準備していた6年生は、かわりに感謝のメッセージと折り紙で作ったプレゼントを急遽準備し、施設の代表の方に手渡しました。

